

# ここにちは 保健師です!

保健師：安達 美幸



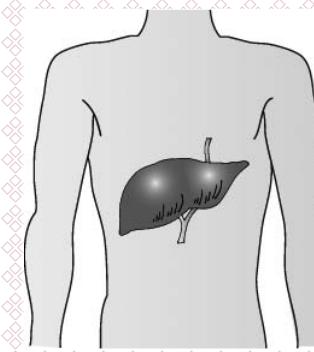
## B型肝炎

## C型肝炎について

保健福祉課保健指導係 P52 2211

### 肝臓の働きについて

肝炎の説明の前に、肝臓の働きについて説明します。



最近、ニュースや新聞などで薬害C型肝炎のニュースをよく見かけることと思います。この問題は、昭和39年（1964年）から平成6年（1994年）頃までにフィブリノゲン（出血を止める働きのある薬剤）と呼ばれるヒトの血液から作られた薬品が、C型肝炎ウイルスの感染力を完全に排除できないまま妊婦や手術をする人などに使われていたことが問題となつ

【肝臓の働き】  
・栄養分（糖質、タンパク質、脂肪、ビタミン）をつくるため  
・代謝するなど  
・血液中のホルモン、薬物、毒物などの代謝・解毒を合成  
・出血を止めるために必要な蛋白を合成  
・胆汁の生産と胆汁酸の合成  
・身体の中に侵入したウイルスや細菌感染の防御など  
・肝臓は、私たちが生きるためにとても重要な働きを担っていますが、病気が進行し病状が悪化しないと自覚症状がないまま経過していきます。

【C型肝炎】  
C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によって起る肝臓の病気です。B型肝炎と同様、肝臓の細胞が壊れ、肝硬変や肝がんへ進展する場合があります。

【PTAと共に創る学校】  
11月10日、学芸会が行われました。下は0歳から、上は90歳までという幅広い観客が90名ほど、小さな体育館に集まっています。「心を一つにかがやく星へ出発進行！」をテーマに、子ども達は練習の成果を十分發揮して、多くの成果を残して終了しました。この成功の裏には、PTAの強力な協力がありました。今年度から本校は、教頭未配属校になり、運動会や学芸会などの大きな行事では、どうしても人手が足りません。そこで、PTAの皆様に、道

ています。今回の報道をきっかけに肝炎について興味を持つた方もいると思います。今回はB型肝炎、C型肝炎について説明します。

### B型肝炎、C型肝炎とは？

【B型肝炎】  
B型肝炎は、B型肝炎ウイルス（HBV）の感染によって起こる肝臓の病気です。肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。B型肝炎には、急性B型肝炎と慢性B型肝炎があり、急性B型肝炎は成人が初めてB型肝炎ウイルスに感染して発病したものであり、慢性肝炎はB型肝炎ウイルスに持続感染している人（HBVキャリア）が発病したもので、慢性B型肝炎を放置すると病気が進行して、肝硬変や肝がんへ進展する場合があります。

の「臓器」と呼ばれています。肝炎により肝臓が悪くなると、これらの働きが十分できなくなってしまいます。

具の出し入れのお手伝いをお願いしました。当日ばかりでなく、総練習から来ていただきました。こうして、PTAの皆様と一緒に行事を作り上げ、成し遂げたのでした。

また、毎年作っている版画アレンダーにも、今までと違った協力をいたきました。「親子と学校の交流を図る」とか、完成した喜びを親子で味わう」というねらいを達成するために、保護者にも自分の顔を彫つてもらいました。子ども達や教職員も自分の顔を彫りました。みんなの顔を印刷してカレンダーの1ページを飾りました。

このように、北落合小学校では、PTAと共に創る学校を目指しています。



シリーズ 学校だより⑥1  
▶▶北落合小学校 ▶▶▶

の倦怠感に引き続き食欲不振・悪化の症状は？  
B型肝炎、C型肝炎ともに全身

握手や食器の共有、入浴や軽いキスなどでは感染しません。

【予防法】  
他人の血液に素手で触れないことが大切です。  
具体的には

・注射針、注射器を肝炎ウイルスに感染している人と共有した場合  
・B型肝炎、C型肝炎ウイルスとも、感染している人の血液が他の人の血液の中に入ることによって感染します。また、感染している人の血液中の肝炎ウイルスの量が多い場合は、その人の体液などを介して感染することもあります。さらに、次の場合にも感染することもあります。

・注射針、注射器を肝炎ウイルスに感染している人と共有した場合  
・B型肝炎ウイルス陽性の血液を傷のある手で触ったり、針刺し事故をおこした場合  
・肝炎ウイルスが含まれている血液の輸血、臓器移植を行なった場合  
・肝炎ウイルスに感染している人と性交渉をもつた場合（C型肝炎はまれ）  
・肝炎ウイルスに感染している母親から生まれた子どもに対して、適切な母子感染予防措置を行なわなかつた場合（C型肝炎は少ない）

・肝炎ウイルスに感染している母親から生まれた子どもに対して、適切な母子感染予防措置を行なわなかつた場合（C型肝炎は少ない）  
・肝炎ウイルスに感染している母親から生まれた子どもに対して、適切な母子感染予防措置を行なわなかつた場合（C型肝炎は少ない）

【検査の方法は？】  
少量の血液検査で検査ができます。

【B型肝炎 C型肝炎になると肝硬変や肝がんになりますか？】  
B型肝炎ウイルスの持続感染者（HBVキャリア）のうち、約10%から15%の人が慢性肝炎を発症すると言われています。C型肝炎ウイルスに初めて感染した場合、70%前後の人人が持続感染の状態に陥ります。いすれにしろ、前後の人も多く、さらに一部の人では肝硬変、肝がんへと進行すると言われています。いすれにしろ、キャリアとなり慢性肝炎を発症した場合、適切な健康管理や必要に応じた治療をせずに放置すると自覚症状がないまま肝硬変へと進展し肝がんになることがあります。

【治療法】  
・歯ブラシ、カミソリなど血液が付いている可能性のあるものを共有しない  
・他の人の血液に触るときは、ゴム手袋を着ける  
・注射器や注射針を共有して、薬物の注射をしない  
・入れ墨やピアスをする時は、消毒済みの器具であることを必ず確認する  
・性交渉の時はコンドームを使用する  
・抗ウイルス療法  
・薬でウイルスの増殖を抑える治療法  
・肝庇護療法  
・薬で肝臓が破壊されるのを防ぎ、肝機能を改善させることを目的とした治療法  
・急性肝炎の人は、初期の対処療法により、ほとんどの人が完全に治癒しますが、まれに劇症化する場合もあります。  
肝炎の正しい知識を得て、定期的に血液検査をして肝臓の状態を知ることが大切です。国では、40歳になつたら肝炎検査を受けるよう呼びかけています。40歳以降、肝炎検査を受けましょう。

